

環境アセスメント学会

第3回国際交流委員会・第38生態系研究部会合同定例会

世界銀行の環境アセスメントにおける Nature positive の最新動向

～生物多様性オフセット事例紹介～

近年、これまでの気候変動への危機感と併せて、世界的にも Nature positive の掛け声とともに、生物多様性保全への関心が広まりつつあります。開発援助の世界においても、ノーネットロス、そしてネットゲインを環境スタンダードに取り入れる国際金融機関が増えてきています。その一方で、先進国の国内制度による生物多様性オフセットに比して、開発援助における生物多様性オフセット事例はまだ多くはありません。また、途上国で保護すべき生態系のエリアは、持続的でない生活基盤を基にする貧困層が住んでいることも多く、彼らの生活基盤を改善しつつ保全すべき生態系のノーネットロスを達成することは、まさに生物多様性オフセットのチャレンジです。本講演では、最近の世界銀行によるこのような生物多様性オフセットへの取り組みをご紹介します。皆様、奮ってご参加ください。

■テーマ・話題提供者：

「世界銀行の環境アセスメントにおける Nature positive の最新動向 -
生物多様性オフセット事例紹介」

世界銀行社会開発部、在インドネシア事務所 石原 聡 氏

■コーディネータ：環境アセスメント学会常務理事

田中 章 （東京都市大学環境学部環境創生学科教授）

■日 時：令和5年9月29日（金）18:00～19:30（17:30より入室可能）

■参加費：無料

■会議方式：ZoomによるON LINE会議

■主 催：環境アセスメント学会国際交流委員会・環境アセスメント学会生態系研究部会

共 催：東京都市大学ランドスケープエコシステムズ研究室

■参 加 申 込：

件名に「JSIA 国際定例会参加希望」と記載し、お名前、ご所属、環境アセスメント学会会員（会員種別）、連絡先メールアドレス、連絡先電話番号をご記入頂き、以下の担当者宛にメールにてお申込みください。メールを受領し次第、ZOOM 会議参加アドレス等を御送り致します。

・メール送付先：環境アセスメント学会生態系研究部会幹事
北村 徹（日本エヌ・ユー・エス株式会社）

・メール送付先：tkitamura@janus.co.jp

■参加申込締切：令和5年9月26日（火）17:00

以上